

一般社団法人 日本口腔検査学会 主催

第二回国民皆歯科健診について考えるミーティング

開催趣意書

日 時 :2024年5月26日(日) 13時~17時

会 場 :日本大学法学部10号館(水道橋)

主 催 :一般社団法人 日本口腔検査学会

理事長 :福本雅彦(日本大学松戸歯学部 有病者歯科検査医学 教授)

企画広報渉外委員会 :石井良昌(日本歯科大学生命歯学部客員教授)

序

国民の健康寿命延伸のために、「歯や口腔機能」が大きな役割を持っていることに異論はない。実際、2022年10月20日に発出された公益社団法人日本歯科医師会による「15～79歳の男女10,000人に聞く「歯科医療に関する生活者意識調査」」によると、健康のために歯や口の健康は大切と考える人は9割を超え、歯科医療に対する意識が高まっている。しかし、歯科医療機関で定期チェックを受けている人は全体の半数以下ということも明らかになった。この意識と行動のギャップを埋めるためにも、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）は重要な施策であり、2025年の導入を目標としている。先の生活者意識調査においても歯科健診は8割以上が肯定的な意見であり、歯科口腔の重要性は国民のなかに醸成できてきていると考える。しかしながら国民皆歯科健診の項目については、遅々として議論が進まないところである。

日本口腔検査学会は、歯科健診項目のうち口腔検査については本学会がイニシアチブをとって進めていくべきと考え、2023年7月に国民皆歯科健診を考えるキックオフミーティングを開催し、国会議員・厚労省・日本歯科医師会・日本歯科医学会、各検査の専門家で熱い議論を交わした。そのなかで健診事業の課題や検査項目など検討すべき内容が浮き彫りとなり、継続的なミーティングを開催することとなっていた。

そこで今回下記の概要にて「第二回国民皆歯科健診を考えるミーティング」を企画した。

日本口腔検査学会 理事長 福本雅彦

開催概要

1. 会議の名称 第二回国民皆歯科健診について考えるミーティング
2. 主催 一般社団法人 日本口腔検査学会
3. 企画責任者 石井良昌(理事・企画広報渉外委員会 委員長)
4. 日時 2024年5月26日(日) 13時～17時
5. 会場 日本大学法学部10号館(水道橋)
6. 参加予定人数 約200名(集合型現地開催のみ・WEB配信はいたしません)
7. プログラム
セッション1
1) 「国民皆歯科健診の進ませ方」
参議院議員 比嘉奈津美先生
2) 「生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)推進事業について」
厚生労働省 歯科保健課長 小椋正之先生
3) 「生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)にいかに応えるか」
公益社団法人 日本歯科医師会 常務理事 山本 秀樹 先生
4) 「国民皆歯科健診の普及におけるエビデンス」
日本歯科医学会 副会長 小林隆太郎先生
セッション2
1) 「顎関節のスクリーニング検査の必要性」
一般社団法人 日本顎関節学会 理事 塚原宏泰先生
2) 「国民皆歯科健診と唾液検査」
NPO 法人日本唾液ケア研究会 理事長 槻木恵一先生
3) 「歯周病のスクリーニング検査」
日本口腔検査学会 理事 高柴正悟先生
セッション3
総合討論 「『国民皆歯科健診』とは何か、我々は何をすべきか」
8. 担当 石井良昌(理事・企画広報渉外委員会 委員)
〒277-0872 千葉県柏市十余二 155-17
株式会社ディーアソシエイツ内
TEL:050-1741-4075
Email:info@jsedp1.jp